

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立高松農業高等学校		
実践者等		藤澤 梨乃	実践日	令和4年5月13日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		家庭科・家庭総合(家庭と家族の形)		
対象生徒(学年等)		食品科学科1年生		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☒ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☐ その他()		
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 (1) 色々な家族を考える - デジタルホワイトボード(Google Jamboard)を使用し、アニメに出てくるキャラクター名を「家族」を念頭に「付箋」で書き出させる。 (2) 家族構成を分類する (1)でリストアップされたアニメキャラクター名の「付箋」を親族世帯(核家族世帯)・親族世帯(拡大家族世帯)・非親族世帯・単独世帯の4つに分類整理させる。 - スクリーンに表示された「付箋」の動きを見ながら、色々な「家族」の形について捉え方や考え方を説明していく。 - 近くの生徒同士で相談することで学び合いをさせる。 (3) 親族の範囲について考える。 - プリントを使用して、親族の範囲についてまとめ、考えさせる。 (4) 本時の振り返り - プリントに、本時の気づきをまとめさせる。				
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) (本時後)				